

国内トップクラスのAWS技術と、安定した運用保守リソースを掛け合わせ、 ワンストップのクラウド化を実現!




ネクストモード 株式会社

業種 情報通信業

従業員数 40名

事業所在地 東京都港区

主な事業内容

クラウド (AWS、SaaS 等) に関する
設計、構築、運用、監視

ホームページ <https://nextmode.co.jp/>

導入サービス

■ クラウド導入・運用サービス

サービス導入時期 2020年7月

ご担当者さま

経営事業部 事業部長 / オペレーション事業部

事業部長 木下 康儀さま

オペレーション事業部 田邊 宏樹さま

オペレーション事業部 鮎澤 耕平さま

パートナーとしての NTT 東日本の選定理由

- ✓ 豊富な運用保守のリソースと実績に裏付けられた、サービス提供までのスピード感
- ✓ クラウドの技術や機能の進化を常にアップデートし、キャッチアップしていること
- ✓ 経験豊富な人材による、24時間・365日の監視、保守対応

NTT 東日本社とクラスメソッド株式会社 (以下、「クラスメソッド社」と) のジョイントベンチャーとして、2020年7月に設立されたクラウドカンパニーです。クラスメソッド社が持つ国内トップクラスのAWS技術力と、NTT 東日本が提供するクラウドビジネス連携を組み合わせた「AWS総合支援サービス」を展開しています。設立から3年が経った現在、中小企業やエンタープライズ企業の一部門を中心に約200社と取り組む規模にまで成長した、その成功事例をご紹介します。



経営事業部 事業部長 / オペレーション事業部
事業部長 木下 康儀さま

1. NTT東日本への相談のきっかけ

クラスメソッド社のAWS技術力と、NTT東日本の安定したサポート体制のコラボレーション

弊社はクラウド市場において、AWSに関する事業領域を展開しています。オンプレミスからAWSへの移行やクラウド最適化に課題をお持ちのお客さまへ、設計コンサルティングから構築支援、運用保守の代行までをワンストップで提供する「AWS総合支援サービス」を提供しています。(木下さま)

もともとNTT東日本社では、2019年に「クラウド導入・運用サービス」をローンチされており、同時にSierやパートナー企業向けにMSP(マネージドサービスプロバイダ)のサービスも提供されていました。そこにクラスメソッドの技術力によるクラウドインテグレーションを組み合わせることで、より多くの企業へクラウド活用サービスをご提供できるのではと考え、2020年7月に両社のジョイントベンチャーとして設立されたのが、ネクストモード株式会社です。(田邊さま)

2. クラウドビジネスパートナーとして NTT東日本を選定された理由と NTT東日本の魅力

サービス提供までのスピード感、最新技術のアップデート、24時間・365日の監視、保守対応が魅力

大きく3つの点が魅力であると感じています。まず、サービス提供までのスピード感には感謝していますね。弊社の「AWS総合支援サービス」では、お申し込みいただいてから最短1ヶ月ほどでクラウド運用支援のサービスを提供しています。繁忙期ですと同じタイミングで10社ほどのお客さまからお申し込みいただくこともあるのですが、NTT東日本社は豊富な運用保守のリソースをお持ちのため、問題なく納期内にサービスをご提供いただけています。

また、運用保守サービスのサービス内容や各種設定(アラートが鳴るCPU利用率の閾値や、アラートが鳴った際の対象方法)を、過去の実績から判断してデフォルト設定し、パッケージ化していることも、短い納期で実現できる理由だと思えます。各種設定について特にこだわりがないお客さまから好評です。

もし同様の運用保守サービスを競合他社に依頼した場合、要件定義からサービスの構築まで2~3ヶ月は掛かってしまうでしょう。そもそも他社の場合、クラウド環境の構築と運用保守がセットになっている場合が多いため、運用保守だけを切り出すことができないケースも珍しくありません。

2点目が、クラウドの技術や機能の進化を常にアップデートし、キャッチアップしていることです。「AWS総合支援サービス」で扱っているAWSは、日々サービス内容や機能がアップデートされており、同時にお客さまからの要件もどんどん高度化しています。つまり、一度サービスの仕様を定めても、5年、10年そのまま継続することはできないのです。そのため、弊社からもAWSに関する最新情報を共有し、一緒に議論させていただくことで、常に最先端のサービスを提供いただいています。

3点目が、24時間・365日の監視、保守対応です。NTT東日本社には、法人向けネットワークサービスや通信サービスの監視、保守を担ってきた人材が多数在籍されています。そうした経験豊富な方々がクラウドの監視、保守対応にシフトされていることで、十分なリソースを確保していると伺いました。(田邊さま)

3. 「クラウド運用」の取り組み状況

中小企業やエンタープライズ企業の一部門を中心に約200社と取り組み

NTT東日本社の「クラウド運用」を活用した「AWS総合支援サービス」は現在、約200社ほどにご提供しています。いまや社内の基幹系システムをAWSで構築する企業も珍しくなく、ICTに先進的な企業以外にもさまざまな業種・業界のお取り組み実績があります。企業規模としては、主に中小企業やエンタープライズ企業の一部門(サーバは50~70ほど)であるケースが多く、キャンペーン系のサイトといった期間限定の案件も多いです。(田邊さま)

ネクストモードさまの「AWS総合支援サービス」における「クラウド運用」の役割

弊社にはAWSに精通したエンジニアが多数在籍しており、「AWS総合支援サービス」では主にお客さまのインフラ構築や平日中帯の運用支援サービスを担当しています。ただ、インフラ構築後や休日・夜間帯のサポートにはどうしても人的リソースに限界があるため、NTT東日本社の「クラウド運用」を活用し、障害対応や運用支援をお客さまにご提供しています。

弊社でご支援しているお客さまは、クラウドに詳しいリソースの確保に悩みを抱えているケースがほとんどです。多くの場合で運用保守に漠然とした不安や悩みを感じられているため、「クラウド運用」による運用サポートはお客さまに受け入れていただきやすいですね。(田邊さま)

4. 導入後の成果

自前で監視、保守対応の体制を構築するには数年も必要など、クラウドビジネス連携でコストなく実現できた

「オンプレミスからクラウドへ」という大きな追い風もあり、「AWS総合支援サービス」の受注ペースは増加し続けています。「クラウド運用」のサー



ビス内容はもちろん、「NTT東日本社が運用をサポートしてくれる」という安心感が背景にあるものだと考えています。

また、セキュリティ要件が厳しいお客さまや、災害対策やBCP対策といった要求事項が多いお客さまにとっても、NTT東日本社が提供する「クラウド運用」は安心いただける要因になっていますね。(點澤さま)

弊社にとっての成果は、運用保守を担当するエンジニアを自社で採用することなく、24時間・365日の監視、保守対応をお客さまにご提供できることです。運用保守を担うエンジニアを自社で確保するためには、採用から教育、そして管理のコストが発生するため、40名前後の弊社には負担が大きすぎます。仮に自前で監視、保守対応ができる体制を構築しようとするれば、おそらく数年かかるでしょう。

NTT東日本社との取り組みによって、コストをかけることなく24時間・365日の監視、保守対応サービスをご提供できています。(田邊さま)

5. 今後のお客さまの展望

今後さらに増加するクラウド化と監視・保守のニーズにお応えしていくため、NTT東日本とサービス内容の改善や拡大に取り組みたい

スピーディに開発できること、柔軟な料金体系であること、そして開発のしやすさから、今後もさらにクラウド化の流れは加速していくものと考えています。政府も2018年に「クラウド・バイ・デフォルト原則」というクラウドサービスの利用を第一候補とする方針を打ち出しており、この考え方は民間企業にも浸透していくはずですよ。

今後さらに増加するクラウド化と監視・保守のニーズにお応えしていくため、NTT東日本とはサービス内容の改善や拡大に取り組みでいきたいと考えています。(田邊さま)

※文中記載の組織名・所属・肩書き・取材内容などは、すべて2023年7月時点(インタビュー時点)のもので、

※事例はあくまでも一例であり、すべてのお客さまについて同様の効果があることを保証するものではありません。

※Amazon Web Services(AWS)は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

